

【校訓】 「実行力」

【学校教育目標】

「人との関わり・つながりの中で自分を高める 実行力の育成」
～「なりたい自分」に向かって 考える・決める・実行する 強さを育てる～

【よりよい集団の中で】

- 目標（なりたい自分）に向かって努力し、やり遂げることで、自己肯定感を高める
- 他者と協働し、多様な見方・考え方方に触れることで、自己開発力を高める
- よりよい集団を創造し、その中の役割を果たすことで、自己有用感を高める
- 自身の行動やるべき姿について主体的に思考・判断・実行する（考える・決める・実行する）ことで、自己指導能力を高める

【目指す目標「なりたい自分」に向かって】

しっかり考え、自分で決めて、粘り強く実行する 心の「強さ」を育む
思考力 主体的な判断力（自律） 実行力（実践力・表出力・アウトプット力）

【目指す学校像】 児童が安心して力を発揮することを支えられる学校

わかる喜び、できる喜び
よりよい人間関係
集団への所属感
努力し、やり遂げる強さ

【目指す子ども像】 「なりたい自分」を目指してがんばる子 考える・決める・実行する子 自分・友達・集団のよいところを言える子

【目指す教職員像】 一人一人の子どもを徹底的に大切にする教職員
協働し、互いに高め合う教職員
組織的連携の中で、主体的に判断し、実行できる教職員

【重点的に 育成すべき資質・能力】

教科横断的な視点で、あらゆる教育活動の中で重点的に育成する

【思考力、判断力、表現力等】

多様な考えを手がかりにして、自分の考えを持ち、主体的に判断・表現する力

【道徳教育重点目標】

よりよい生き方を目指して強く生きる子どもの育成

【重点内容項目】

A : 善悪の判断、自律、自由と責任

A : 希望と勇気、努力と強い意志

※具現化に向けて・・・・「実行力」

- ① 重点化
- ② ねらいや目的の明確化
- ③ 組織力の向上

【基盤となるもの】人権教育

一人一人を徹底的に大切にする

○わかる喜び、できる喜び

○よりよい人間関係

○集団への所属感

○「なりたい自分」に向かって努力しやり遂げることで生まれる自己肯定感

○自分の力で「考える・決める・実行する」ことで生まれる自己肯定感

→一人一人が、「なりたい自分」に向かって、安心して力を発揮できる

知：授業改善

○学校教育目標、育成すべき資質・能力を基盤にしたカリキュラム・マネジメント

○自己肯定感の高まる「授業づくり」

○重点をしづつ組織的に徹底させる取組

○家庭学習の習慣形成

○ＩＣＴの特質を生かした学習（GIGAスクール構想の実現）

徳：道徳教育の充実

○学校の教育活動全体を通じて、全教職員が行う道徳教育

○道徳教育重点目標 及び 重点内容項目の重視

○特別活動における、「道徳的実践」の重視

○よりよい集団の中で、経験と自己肯定感を高める取組の実践 「集団づくり」

○振り返りと目標設定を通して行う「自分づくり」 ※自ら律する

※生き方探求パスポート

体：子どもの命（安全・健康）を守りきる教育の徹底

○命を守り切る覚悟：緊張感・愛情・想像力・思考力・判断力・実践力

○安心、安全な学校づくり：教職員の危機管理能力

○見逃しのない観察・手遅れのない対応・心の通った指導

○感染予防対策の徹底

○健康教育の充実（生活習慣形成・タイムマネジメント力の向上）

【支えるもの】

① 確かな学級経営・学年経営

- ・ルールの徹底 : Rule
- ・よりよい人間関係 : Relation

「所属感」を高める : 「この集団にいて、よかった」

② 錦林小学校教育の伝統を大切にする

- ・地域との連携を深める

地域の宝を大切にし、人々の願いや思いを大切にする

番組小学校としての歴史と伝統、誇り

新洞小学校と錦林小学校の統合

- ・保護者や地域の方々の「地域愛」「学校愛」に感謝し、子どもの学びにつなげる

学校運営協議会 子どもの安全の見守り

- ・国語教育、図書館教育、情報教育、キャリア教育等の積み上げを大切にする

③ 家庭との連携を強める

- ・「子どもを中心にはえた」丁寧な関わりと適切な対応

→子どものよさを語れる教職員

→保護者とともに認め、励ます教職員

- ・家庭学習の内容の充実

目的の明確化と計画性 日々の授業との連動 自学自習の習慣形成

- ・家庭へのはたらきかけと理解を得るための工夫

タイムマネジメント力

予定表の効果的な活用

【これからのさまざまな教育課題に対応するために】

① 組織力と問題対応力の強化

報告・連絡・相談の徹底 情報の共有、可視化

組織的なリスクマネジメント・クライシスマネジメント

問題に対応できる一人一人の 思考力・判断力・実行力の向上

【考える・決める・実行する】

② 学び続ける教職員のために：OJTの充実

校内研修を基盤にした力量向上

日常的なOJT

③ 働き方改革

限られた時間の中で、よりよいコンディションのもと、効率的で質の高い取組を目指す

「教育活動の一層の充実のため、教職員が子どもと向き合う時間を確保し、いきいきと

やりがいを持って働くことのできる環境をつくっていくため」

④ 安全で清潔、整理整頓の行き届いた環境づくり

危険な箇所・不要な物の放置・清掃が不十分な場所 はないか

「ムダ」はないか・・・学校予算の適切な運用・既存資源の有効活用